

教材を介したコミュニケーション

2014年3月30日(日) 10:30-12:30

何かを学ぼうと思ったときに使用する教科書や教材。これらは、その作者が学ばせたいことをカタチにしたものですが、果たしてその「思い」は使用する側に伝わっているのでしょうか？教材を使用した際、学ぶ側が理解できないのは、「学ばせたいこと」が「伝わりにくい」からかもしれません。

今回は、「分かりやすい」の一側面として、「伝わり易い」に着目し、そのための工夫について、プログラミング学習の事例をお話ししたいと思います。(ゲストより)

ゲスト 岡本 雅子 氏

京都大学大学院情報学研究科 社会情報学専攻 博士後期課程

民間企業での勤務を経て、名古屋大学大学院国際開発研究科博士前期課程修了。現在、京都大学大学院情報学研究科博士後期課程に在籍。専門は情報教育。

会場 うめきた・グランフロント大阪北館7階
ナレッジキャピタル、ナレッジサロン
*会員制のサロン内での開催のため、申込が必要です。
*申し込まれた方には、連絡先をお伝えします。

定員 12名程度

備考 飲食物の持ち込みはできません。
*サロン内のカフェをご利用いただくことになります。

主催 科学コミュニケーション研究会
関西支部有志(加納、水町)



お申し込みはコチラから → <http://goo.gl/s1Mgz4>